

第120号

月刊

על-פליי מיים

流れのほとり

連絡先 〒807-8691 北九州市八幡南郵便局私書箱 26 号 本部 TEL&FAX 093(692)8592

所在地 〒807-0004 北九州市小倉北区鍛冶町 2-3-13 北九州 YMCA 内

HP <http://bible-school.name/>

E-Mail hope_to_tomorrow.y@san.bbiq.jp

あなたがわたしを選んだのではない
わたしがあなたを選んだのである

理事長 山口 晶久

旧約聖書の時代です。サムエルという人がいました。生涯主なる神様に仕え、祭司としてイスラエルのために尽くしました。歳月が過ぎ、彼は老います。そして、自分に代わって国のために務めを行う者として息子たちを任命しますが、彼らは不正な利益を求めて父の道を歩もうとしません。そのために、イスラエルの民は、「他の国々のように我々のために裁きを行う王を立てて下さい。」と、願い出ます。そこで、サムエルは願いを主なる神に問い、民の声に従います。

その後のことが、旧約聖書サムエル記上9章から始まるイスラエルの最初の王になる、サウル物語です。その昔、ベニヤミン族に名をキシシュという勇敢な人がいました。彼にひとりの息子がいて名をサウルといいました。このサウルは、美しい若者でイスラエル民の誰よりも肩から上の分だけ背が高かったとあります。あるときのことです。

父親のキシシュは、飼っていたロバがいなくなったので、息子サウルに一人の従者を連れて捜してくるように命じます。二人は、エフライムの山地を越えて捜しますが、ロバを見つけることはできません。そこで、ツフの地に来たときに従者と共にわが家に帰ろうとしますが、従者の若者がこのような話をするのです。「ちょうどこの町に神の人がおられます。この方のおっしゃることは何でもそのとおりになります。お訪ねすれば、進むべき道について何か告げてくださるでしょう」と。そこで、二人は帰らず町に向かいます。そして、祭司サムエルに出会うのです。その町で二人は驚くべきことを聞くのです。三日前に姿を消したロバはすでに見つかっていること、それだけでなく、若者であるサウルに全イスラエルの期待がかかっていることが知られるのです。

「イスラエルで最も小さなベニヤミン部族である私を、どんな理由でそういわれるのですか。」と、サウロは祭司サムエルに問います。サムエルは、サウルと従者の二人を招き、上座の席を与え料理を運ばせ食事を共にします。夜が明け、そこでサウルは、サムエルから「神の言葉を聞き」その後、

油を注がれます。そして、ご存じのようにイスラエル国の王となるのです。この時期、イスラエルは遊牧民の生活からカナンに定住し、一つの国家を形成しようとしていたころでもありました。モーセやヨシュアのような指導者を得ることができず、軍事、外交、政治など国家としての意志を代表する指導者、すなわち王が必要となったのでしょう。

たまたま、父親キシュのロバを捜しに出かけ祭司サムエルに出会った。サウルは自分自身の意志でない、父の命に従っただけです。そして、従者の言葉を聞き入れたために、イスラエルの民の全てが望む王権が、サウルに与えられることになった。ここに「神の言葉をあなたにお聞かせします」(9章27節)と、サムエルがサウルに言った言葉があります。王となるサウルに、どのような神の言葉が話されたのかと思わされます。

ある聖書注解者は、申命記17章14～20節にある「王に関する規定」のような内容であっただろうと書いています。申命記を開きますと「王を立てようというならば、必ずあなたの神、主が選ばれる者を王としなさい。…王についたならば、祭司のもとにある原本から律法の写しを作り、それを傍らに置き、生きている限り読み返し、神なる主を畏れることを学び…忠実に守らなければならない。…この戒めから右にも左にもそれることなく、王もその子らもイスラエルの名で王位を長く保つことができる」と。サムエルが活躍した時代は、紀元前1020年頃です。申命記は、モーセの告別説教ですから、それ以前の内容です。聖書注解者が語るように、申命記17章の下りが話されたかも知れません。

このように学びますと、ごく普通の生活の中に起こる出来事にも、神様の深いご計

画があることに気付かされます。自分の意志と関係なく父の命に従ったサウル。そのためにサムエルと出会い神の言葉を聞く機会が与えられた。

この度、ご入学なさいました皆様は、友人のお誘いもあり、自分から学びたいと思われた方もあるでしょう。動機は異なっても、そこに神の言葉を聞く機会が備えられたのです。「聞く」とは、ギリシャ語でアクローという言葉です。その意味は「聞き従う」です。聖書を読み、神の語りかけとし、謙虚に聞き従うときに、初めてみ言葉を聞いたことになる。人生のある時期、時間を設け、神の言葉に向き合うことは、とても大切なことだと思います。なぜなら、神の語りかけに生きようとするときに、人は使命ということを学ぶからです。「使命」とは、「命を使う」と書きます。

この地上で、私たちは神と人の前にその生涯を歩きます。家庭人として、あるいは会社員として、また職場で専門職の能力を生かす方もあるでしょう。そのようなごく普通の日々の営みが、神の言葉を聞いて祈りつつ歩むときに、それが使命に変わる。なぜなら、神と人の前に命を使うからです。このように考えますと、私たち一人ひとりに神の選びと期待があることを思うのです。

(2013年5月10日入学式祝辞要約)

キリストのために生きる

校長 野村 幸生

私たちは、クリスチャンである以上、誰もが、キリストはこの私のために死んでよみがえって下さったと信じています。私たちは、もはや私たちのために生きるのではなく、私たちのために死んでよみがえって下さった方＝キリストのために生きるとい

うのが、聖句（Ⅱコリント5：15）のテーマです。

イエス・キリストのために、私たちが生きるということはどういうことでしょうか。

私たちがイエス・キリストのために生きるということが、もっとも顕著に表れているのは、私は、やはり礼拝、教会で共に捧げる礼拝であると思います。そして、教会生活の中心は礼拝である、ということは大切なことです。

私たちは信仰生活や、教会生活の中で、迷いが生じ、何が第一か分からないと思うときがある。そのようなときには、やはり原点に帰るということが大事です。これは信仰の世界だけでなく、どの世界でも、迷いが生じたら原点に帰るということが大切なことではないでしょうか。

仕事があり、家庭があり、そして北九州信徒聖書学校があり、いろんなことがあります。そうした中で、もう一度、自分の信仰生活の一番大切な原点は何かということを考えて、それは、私たちは、自分のために生きるのではなく、キリストのために生きるということではないでしょうか。そして、そのことが最もよく表されているのが、礼拝を守る、礼拝を捧げるということではないでしょうか。父なる神様は、霊とまことによって礼拝する人を求めています。（ヨハネ4：23、24）

ただし、中心が中心としてきちんと維持されるためには、その周りの要素も重要なことです。私たちが教会の公同の礼拝を守るためには、その礼拝を守るための環境も重要なことです。ですから、どの教会でも礼拝を守る場所である教会堂を建てるということは重要なことです。

教会にはいろんな活動があり、交わり会や婦人会、食事会、クリスマス会などの活動を大事にしながら、日曜日の礼拝には、

今は、出席できないけれども、週日の集会なら出席出来る場合には、それも大切にしていける。これらは教会の活動としては、第一のものではないかも知れないが、それらも大切にしながら、整えていくことが、やがて、第一のものが確保されるようになる。

私たちの家族や仕事の関係を大切にしていける、それを整えていくことが、やがて、日曜日の礼拝を守る環境が整えられていくようになる。ときには、家族や仕事との関係を整えて、礼拝守り続けるためには、1～2回を、本意ではないけれども、家族や仕事のために用いることが返って、残りの50回の日曜日の礼拝を守る環境が整えられるようになることもある。第二、第三のことを大切にすることで、やがて、第一のことを第一にすることができるようになる。第一の礼拝を守ることができるようになる。礼拝は第一であるけれども、そこは柔軟な考えをもって、何が最終的に整えられる必要があるということ、知性を尽くして、考えていく必要があります。私たちのために死んでよみがえった方のことを覚えて、神をあがめることが私たちの第一の務めです。そして、礼拝を守り、神をあがめることが、イエス・キリストによって救われたという確信を更に増すことにつながるようになります。私たちがクリスチャンとしての確信をもって生きるということと、教会の礼拝を守ることには、相乗効果がある。

私たちの人生には大切なものが多くある。大切なものが増えてくると、信仰の中心が揺れてくる。そのような中で、自分にとって一番大切なものは何だろうか、と、ふと立ち止まって、考える。そして、私のような罪人のために、かけがえのない独り子を下さった神様こそ、私にとって、一番大切な方であることを、確認して神様を賛美することが、礼拝ではないでしょうか。

そのような礼拝に、私たちは毎週招かれて
いるのです。(2013年7月5日礼拝奨励要約)

2013年度

礼拝説教者及び講義担当者氏名

説教者

野村幸生校長 (香住ヶ丘キリスト福音教会牧師)

吉住 和義牧師 (日吉台キリスト教会)

上島 信弥牧師 (野の花クリスチャンチャーチ)

塩屋 弘牧師

(ウェスレアン・ホーリネス教団戸畑高峰教会)

原田 昌樹牧師

(チャーチオブクライスト・北九州クリスチャンの集い)

廣川 和行教頭

(日本キリスト兄弟団新下関教会牧師)

山口 晶久理事長 (北九州信徒聖書学校)

森上 洋介牧師

(日本イエスキリスト教団小倉教会)

福田 昌治牧師

(日本バプテスト連盟富野バプテスト教会協力牧師)

鮫島 則雄牧師

(日本バプテスト連盟門司港キリスト教会)

吉井秀人牧師 (遠賀キリスト教会)

楊 周漢牧師 (折尾経済短期大学宗教主事)

水田三郎牧師

(元日本バプテスト連盟佐賀キリスト教会)

木本 正徳同窓会会長

(日本バプテスト連盟高須キリスト教会員)

大原 高久牧師 (日本同盟教団小倉中央教会)

久多良木和夫牧師

(日本キリスト教団北九州復興教会)

名古屋義弘牧師 (日本キリスト教会下関教会)

中谷 清牧師

(日本キリスト教団小倉徳力教会)

講義科目担当

本 科

ギリシャ語入門

福音緒論

吉住和義牧師

廣川和行教頭

塩屋 弘牧師

使徒行伝緒論

キリスト教々育

パウロ書簡緒論

キリスト教倫理

教会史

公同書簡緒論

黙示録

聖書聖典論

異端論概説

研究科

教理史

牧会学概論

新約神学概論

教義学

旧約神学概論

説教学演習

経済思想史

カウンセリング

祈禱論

個人伝道法

福音と文化

久多良木和夫牧師

吉井秀人牧師

古川敬康牧師

原田昌樹牧師

楊 周漢牧師

塩屋 弘牧師

上島信弥牧師

塩屋 弘牧師

廣川和行教頭

野村幸生校長

原田昌樹牧師

上島信弥牧師

森上洋介牧師

原田昌樹牧師

野村幸生校長

久多良木和夫牧師

吉住和義牧師

野村幸生校長

増田 賜先生

廣川和行教頭

山口晶久理事長

上島信弥牧師

楊 周漢牧師

特別講義のご案内

日時 10月4日(金) 午後7時～8時半

会場 財団法人北九州YMCA

北九州市小倉北区鍛冶町2-3-9

テーマ 「神の宣教・私の役割」

講師 西村 信恵師

山口県長門市生まれ。日本キリスト兄弟団深川キリスト教会出身。沖縄YWAM、英国AII Nations Christian Collageで学ぶ。OMS宣教師としてカンボジアへ。2012年OMSインターナショナル日本国内主事として宣教活動。

編集後記

本校の働きとその使命に
寄せられますご支援に感謝を申し上げます。